

タチネコノメソウ

Chrysosplenium tosaense (Makino) Makino ex Suto
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内に広く分布するが、分布域の一部において生育環境が悪化しており減少傾向にある。

分 布

本州（関東以西）、四国、九州に分布する。県内では嶺南地方、嶺北地方で確認されている。

種の特徴

林中または林縁の沢沿いの水湿地に生える。高さ5～12cm。茎はやや褐色を帯びる。根出葉は長い柄があり腎円形。茎葉は互生し大きな鈍鋸歯がある。苞は茎葉と同形で黄緑色。花序同士はやや離れてつく。萼は平開し黄緑色。

生育を脅かす要因

生育地に林道工事、森林伐採等の環境圧を加えると生育環境が悪化し、生育を脅かす要因となっている。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○	○		○		○							

ミヤマダイモンジソウ

Saxifraga fortunei Hook.f. var. *alpina* (Matsum. et Nakai) Nakai
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

亜高山帯上部付近に生育する種で、分布域が限定されており、生育個体数も少ない。

分 布

北海道、本州（中部地方以北）に分布する。県内では嶺北地方の高山で確認されている。

種の特徴

高山帯の岩場や岩上に生える多年生草本。花茎の高さは5～20cm。葉はすべて根生で、葉身は腎円形で掌状に浅～中裂する。花茎も葉も毛が少ない。花期は7～10月。花は白色か紅色。ダイモンジソウの品種で、葉が小さい、毛が少ない等の違いがある。

生育を脅かす要因

産地局限で岩礫地、砂れき地、岩上等脆弱な環境に生育しているため生育環境が壊れやすい。また温暖化による種の存続への圧迫が懸念される。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市

ウチワダイモンジソウ

Saxifraga fortunei Hook.f. var. *obtusocuneata* (Makino) Nakai
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は10箇所以下で、生育地、生育個体数とも少ない。

分 布

本州、四国、九州に分布する。県内では坂井市、福井市で確認されている。

種の特徴

渓流沿いの岩場に生える多年生草本。葉は茎の下部に集まってつき、長い柄がある。葉の質はやや厚く、葉身は長さ2～5cmの倒卵形、3～7裂し、基部は楔形または切形。花はダイモンジソウと同じで、上部の3個の花弁が短く、下部の2個の花弁が長い。

生育を脅かす要因

渓流沿い岩上等脆弱な環境に生育しているため生育環境が壊れやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○					○	○